

選ばれるNaganoへ - 3つの戦略 -

～H27年度インバウンド予算のポイント～

1 エリアを絞り込んだ誘客促進

➤タイ市場の深掘り

➤東南アジアの新興市場(マレーシア等)での積極展開

【戦略的な外国人旅行者の誘致推進事業等 予算額 44,402千円】

2 インパクトのある情報発信

➤ネイティブの情報発信員がNaganoの魅力を発掘・発信

➤タイ現地コーディネーターのネットワークを活用した情報発信

【海外に向けた「NAGANO」発信力強化事業 予算額 26,046千円】

3 ストレスの少ない外国人受入環境整備

➤宿泊施設、観光施設等における無線LANの集中的な整備

➤インバウンド新規受入地域の拡大

【外国人旅行者受入環境整備事業等 予算額 101,849千円】

インバウンド市場の特徴と平成27年度取組方針

市 場		市場の特徴	H27の取組方針
最 重 点	台湾	○親日度、リピーター率が高い。 ○ネット、口コミの影響が高い。 ○LCCCの定着による個人旅行者の急増	●NAGANOらしいテーマ性(真田丸、忍者)やマラソン、サイクリングなど活用したFITの取り込み ●訪日教育旅行を通じた長期的な相互交流関係の構築
	中国	○スキー人口の爆発的な増加 ○団体旅行が主流 ○春節(1、2月)、国慶節(10月)といった大型連休に旅行が集中(この時期の大幅な増客困難)	●スキークラブ等に所属するスキー愛好家の取り込み(富裕層)、北京冬季オリンピックとの連動 ●健康(サイクリング・トレッキング)・安全な食といった中国人が興味をもつテーマを提案 ●中国国際放送局と連携した共同番組製制作等の取り組み ●河北省との観光促進協定に基づく誘客促進
	シンガポール	○FIT化が早くから進展した成熟市場 ○訪日ハードリピーターも多い	●テーマを絞ったNAGANOらしい着地型旅行商品(例:酒蔵ツアー、花火大会&温泉、雪、田舎体験など)の提案 ●現地有力旅行会社との連携強化による個性的商品の造成
	タイ	○アセアン地域で際立つ市場規模 ○訪日旅行ブームが継続し、訪日外客数の伸びもトップクラスの水準を維持 ○訪日短期滞在ビザの免除や、日本各地への新規就航・増便により、「気軽に行かれる日本」のイメージが定着	●露出量の増加による「NAGANO」の認知度向上(富裕層向け雑誌や機内誌への広告出稿、パワーブローガー招聘、旅行フェア出展、長野県PRキャラクター「アルクマ」の活用)⇒一歩先へ！ ●現地コーディネーターを起点とする現地旅行会社への浸透 ●長野県関係者との協働(長野県応援団の獲得、インセンティブツアーへの展開)
重 点	香港	○リピーター率がアジア最大 ○レンタカーの利用が増加 ○東京拠点の日帰り旅行化の懸念 ○食事とショッピングへの関心が高い	●レンタカーを活用した県内周遊の提案によるFITの取り込み ●マラソン、サイクリングなどのFITの取り込み ●軽井沢等ウェディングの販売促進
	韓国	○短期滞在が主流・平均消費額が少ない ○登山は国民的レジャー ○九州への旅行が多い	●アジアナ航空と連携した県内商品の販売促進(H25から継続して実施⇒信州まつもと空港活用と連動) ●H26.10から催行の始まる木曽森林浴ツアーを拡大
	オーストラリア	○1月、2月のスキー客が中心、長期滞在者が多い ○白馬、野沢などへの宿泊が大半を占める	●長野-新潟スノーリゾートアライアンス実行委員会による取組を継続 ●FIT、グリーン期への誘導商品の造成
	インドネシア	○訪日短期滞在ビザの免除が予定されているものの、条件付きのため、FIT化進展への効果は不明瞭 ○訪日リピーターの出現により、地方への誘客が本格化	●露出量の増加による「NAGANO」の認知度向上(新聞広告、旅行フェア出展) ●大手旅行会社とのタイアップによる商品化、国内ランドオペレーターへの営業強化
	マレーシア	○訪日短期滞在ビザの免除が奏功し急速なFIT化が進展 ○国民7割を占めるムスリム層の所得水準向上 ○現地旅行会社及び一般消費者へのNAGANOの浸透が圧倒的に弱い	●露出量の増加による「NAGANO」の認知度向上(エアラインと連携したメディア招聘、旅行フェア出展) ●現地旅行会社への浸透(「長野県観光セミナー」開催)⇒商品造成への取り組み強化

外国人誘客のための無料公衆無線LAN環境整備等の推進

H27.2.3
情報政策課
国際観光推進室

目 的	①外国人旅行者の増加・滞在・周遊の促進、②地域ブランドの国内外への発信		
数値目標	外国人宿泊者数:36.1万人(平成25年) ⇒ 50万人(平成29年)		
対 象	公共的な観光施設(観光案内所等)	民間の宿泊施設(ホテル等)	交通の要所(駅・バス停等)
方 針	○次の①から③の観点に基づき、15エリアを選定。 ①外国人宿泊者数が年間5千人超の市町村(15市町村) ②ジャパン・ガイドで格付けされている県内の観光地(14スポット)を抱える市町村 ③中央リニア開通も見据えた新たな観光スポットの開拓が見込まれるエリア		
具体事業	具体的な整備箇所を市町村が「外国人旅行者受入環境整備計画」に位置付け ・対象 総務省「観光・防災Wi-Fiステーション等整備事業」を活用した公共施設(観光案内所等)での整備、情報発信機能を付加 ・事業主体 市町村、第三セクター法人 ・補助率 1/6 (国1/2、県1/6、市町村等1/3) ・対象 民間の宿泊施設等(但し、全国チェーンや一定規模以上の大規模施設は除く。)での整備 ・事業主体 民間の観光事業者 ・補助率 1/2 地方創生交付金 ・対象 交通事業者(但し、一定規模以上の大規模な事業者は除く。)の施設での整備 ・事業主体 県内の交通事業者 ・補助率 1/2 地方創生交付金 整備対象エリア ⇒ 松本(SKF松本)、長野・上田(真田丸)、諏訪(諏訪御柱祭)、飯山(新幹線)、木曽(観光復興)、白馬(スノーリゾート)		
担当部局	企画振興部	観光部	観光部
見える化	「つながるNAGANO連絡協議会(仮称)」 (構成)県・市町村、観光団体、商工団体、交通事業者、通信事業者等		

平成25年外国人延宿泊者数の調査結果について

山岳高原観光課
国際観光推進室

- 平成25年の外国人延宿泊者数は、前年比44.8%増加の360,938人でした。平成11年の調査開始以来、過去最多となりました。
- 国・地域別では、台湾が124,519人(対前年比+66.8%)と最も多く、次いでオーストラリア61,397人(同+50.3%)、香港29,681人(同+21.7%)の順でした。中国を除く各国は、前年に比べ増加しました。特に台湾、オーストラリアなど6カ国は、過去最多となりました。
- 市町村別では、白馬村が60,556人と最も多く、次いで長野市、松本市、山ノ内町、軽井沢町の順でした。
- 宿泊月別では、2月が46,792人と最も多く、次いで1月(45,814人)、4月(39,153人)の順でした。
- 今後も、台湾やオーストラリアに加え、増加が著しい東南アジアをターゲットに、官民一体となった誘客活動や他県と連携した事業を展開します。

1 国・地域別の状況

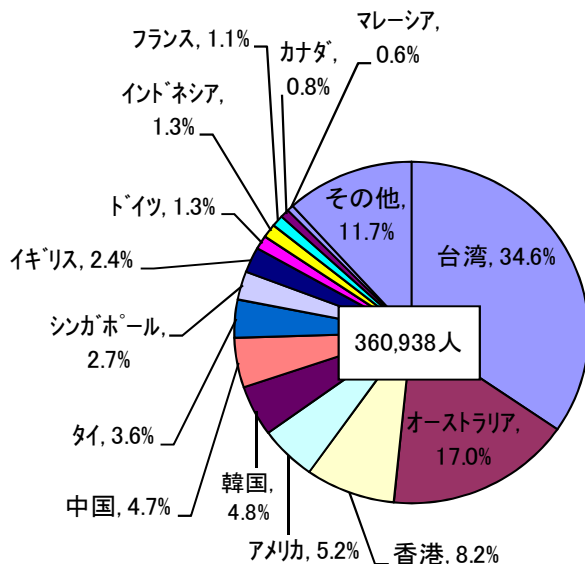
表－1 国・地域別延宿泊者数

(単位:人、%)

区分		平成24年		平成25年			
		延宿泊者数	構成比	延宿泊者数	構成比	対前年増減	対前年比
アジア	台湾	74,669	30.0	124,519	34.6	49,850	66.8
	香港	24,392	9.8	29,681	8.2	5,289	21.7
	韓国	14,292	5.7	17,207	4.8	2,915	20.4
	中国	18,254	7.3	16,964	4.7	△1,290	△7.1
	タイ	7,009	2.8	13,049	3.6	6,040	86.2
	シンガポール	6,325	2.5	9,785	2.7	3,460	54.7
	インドネシア	—	—	4,752	1.3	—	—
	マレーシア	—	—	2,282	0.6	—	—
北アメリカ	アメリカ	16,308	6.5	18,700	5.2	2,392	14.7
	カナダ	2,650	1.1	2,836	0.8	186	7.0
ヨーロッパ	イギリス	4,976	2.0	8,754	2.4	3,778	75.9
	ドイツ	2,125	0.9	4,815	1.3	2,690	126.6
	フランス	2,480	1.0	3,850	1.1	1,370	55.2
オセアニア	オーストラリア	40,845	16.4	61,397	17.0	20,552	50.3
その他(国籍不詳含む)		34,921	14.0	42,347	11.7	7,426	21.3
合 計		249,246	100.0	360,938	100.0	111,692	44.8

※平成25年調査からインドネシア、マレーシアの区分を設けました。

図－1 国・地域別延宿泊者数割合



○調査期間:平成25年1月1日～12月31日

○実績有と回答した施設数:870施設(平成24年808施設)
政府登録ホテル・旅館及び市町村が調査対象として適
当と認めた施設(計2,805施設)に照会。



2 宿泊地別の状況

(1) 主な市町村別の状況

- 市町村別では、白馬村が最も多く、次いで長野市、松本市の順でした。
- 上位7市町村は全て前年を上回りました。特に大町市は157.4%、松本市は73.8%と、大幅に増加しました。

表－2 外国人宿泊者の多い市町村の国・地域別延宿泊者数

(単位：人、％)

区 分		白馬村	長野市	松本市	山ノ内町	軽井沢町	野沢温泉村	大町市	その他	合 計
アジア	台 湾	6,047	26,687	8,761	2,919	9,961	1,248	13,179	55,717	124,519
	香 港	4,032	4,700	2,489	4,689	7,845	1,113	1,375	3,438	29,681
	韓 国	1,098	1,668	2,349	1,145	1,317	79	1,997	7,554	17,207
	中 国	459	2,076	3,511	433	1,104	215	354	8,812	16,964
	タ イ	345	1,248	5,864	621	1,146	118	428	3,279	13,049
	シンガポール	2,487	783	1,968	931	915	798	350	1,553	9,785
	インドネシア	99	357	1,408	155	112	1,402	354	865	4,752
	マレーシア	100	229	553	231	225	184	94	666	2,282
北アメリカ	アメリカ	2,700	2,960	3,952	2,368	591	574	145	5,410	18,700
	カナダ	696	529	611	203	94	106	22	575	2,836
ヨーロッパ	イギリス	1,578	1,004	2,178	1,103	121	566	4	2,200	8,754
	ドイツ	408	1,548	923	381	17	88	1	1,449	4,815
	フランス	734	498	1,170	272	69	275	0	832	3,850
オセアニア	オーストラリア	34,096	1,752	3,180	7,132	236	12,193	22	2,786	61,397
その他（国籍不詳含む）		5,677	5,797	12,906	4,322	1,652	1,439	346	10,208	42,347
合計		60,556	51,836	51,823	26,905	25,405	20,398	18,671	105,344	360,938
構成比		16.8	14.4	14.4	7.5	7.0	5.7	5.2	29.0	100.0
対前年増減		15,737	12,420	22,003	4,879	792	5,094	11,418	39,349	111,692
対前年比		35.1	31.5	73.8	22.2	3.2	33.3	157.4	59.6	44.8

(2) 6広域・地方事務所別の状況

- 広域地域別では、日本アルプス（白馬村、松本市など）が151,804人と最も多く、次いで北信濃（長野市、山ノ内町など）、東信州（軽井沢町など）の順となっています。
- 地方事務所別では、下伊那を除く全ての地域で前年を上回りました。

表－3 6広域・地方事務所別延宿泊者数

(単位：人、％)

区 分		平成24年		平成25年			
		延宿泊者数	構成比	延宿泊者数	構成比	対前年増減	対前年比
東 信 州		44,577	17.9	47,576	13.2	2,999	6.7
	佐 久	37,540	15.1	40,506	11.2	2,966	7.9
	上 小	7,037	2.8	7,070	2.0	33	0.5
諏 訪		15,177	6.1	29,940	8.3	14,763	97.3
伊 那 路		6,904	2.8	8,973	2.5	2,069	30.0
	上伊那	3,937	1.6	6,820	1.9	2,883	73.2
	下伊那	2,967	1.2	2,153	0.6	△814	△27.4
木 曽 路		4,639	1.9	7,467	2.1	2,828	61.0
日 本 ア ル プ ス		89,990	36.1	151,804	42.0	61,814	68.7
	松 本	33,990	13.6	58,779	16.3	24,789	72.9
	北安曇	56,000	22.5	93,025	25.6	37,025	66.1
北 信 濃		87,959	35.3	115,178	31.9	27,219	30.9
	長 野	48,074	19.3	65,184	18.1	17,110	35.6
	北 信	39,885	16.0	49,994	13.9	10,109	25.3
合 計		249,246	100.0	360,938	100.0	111,692	44.8

3 宿泊月別の状況

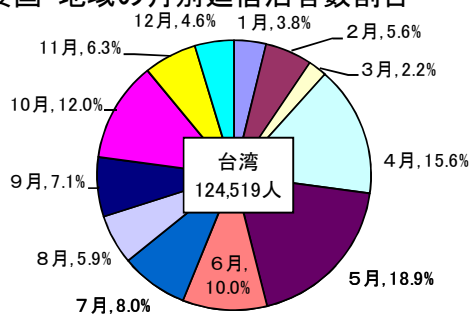
■ 全ての月で前年を上回りました。特に6月は台湾の増加により、前年比+108.5%でした。

表－4 月別延宿泊者数

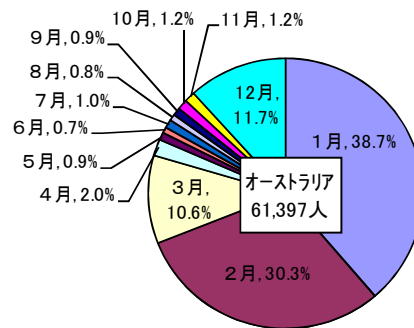
(単位：人、%)

区分		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
25年	延宿泊者数	45,814	46,792	22,124	39,153	38,355	22,187	21,738	22,533	19,274	32,348	19,458	31,162	360,938
	構成比	12.7	13.0	6.1	10.8	10.6	6.1	6.0	6.2	5.3	9.0	5.4	8.8	100.0
	対前年増減	4,266	17,047	8,838	14,525	12,000	11,544	5,165	7,310	7,283	10,374	5,568	7,772	111,692
	対前年比	10.3	57.3	66.5	59.0	45.5	108.5	31.2	48.0	60.7	47.2	40.1	33.2	44.8
24年	延宿泊者数	41,548	29,745	13,286	24,628	26,355	10,643	16,573	15,223	11,991	21,974	13,890	23,390	249,246
	構成比	16.7	11.9	5.3	9.9	10.6	4.3	6.6	6.1	4.8	8.8	5.6	9.4	100.0

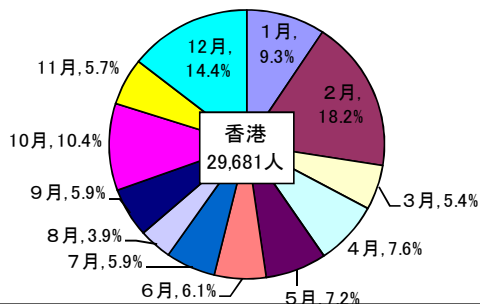
図－2 主要国・地域の月別延宿泊者数割合



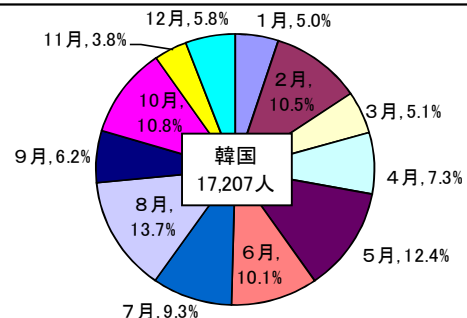
台湾は、立山黒部アルペンルート開通後の4月、5月と紅葉が見頃の10月が多くなっている。



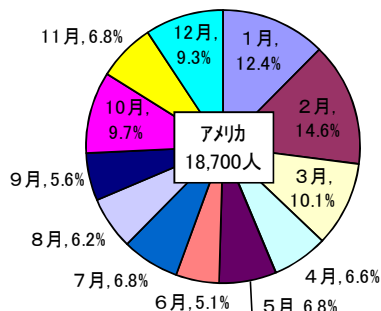
オーストラリアは、夏休みシーズンとなる1月、2月のスキー場利用者が多い。



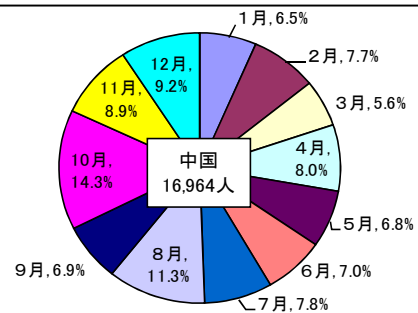
香港は、春節(旧正月)の2月と、クリスマス休暇の12月が多い。



韓国は、福島原発の放射能汚染水の風評被害や日韓関係の冷え込みから、9月以降減少した。



アメリカは、1月、2月が多くなっているが、月ごとの変動が小さい。



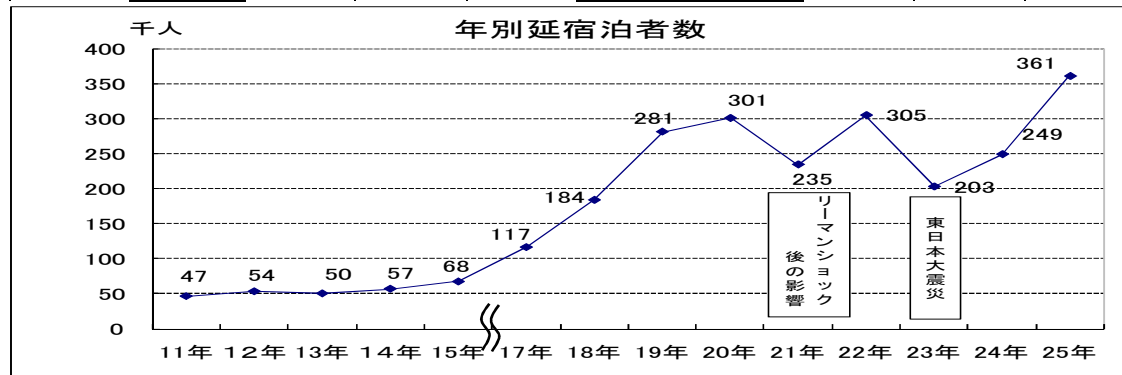
中国は、日中関係の悪化により減少していたが、10月以降回復傾向にある。

【参考】

表－5 年別延宿泊者数

(単位：人)

国・地域 年	アジア								北アメリカ		ヨーロッパ			オセアニア	その他 (国籍不詳 含む)	合計
	台湾	香港	韓国	中国	タイ	シンガ ポール	インドネシア	マレーシア	アメリカ	カナダ	イギリス	ドイツ	フランス	オースト ラリア		
11年	9,139	1,420	2,545	3,148	350	539	—	—	13,581	821	3,021	1,670	722	1,055	8,678	46,689
12年	16,845	1,148	3,401	3,112	347	1057	—	—	10,499	1,001	1,823	2,023	758	743	10,806	53,563
13年	15,358	1,367	2,559	3,009	277	540	—	—	9,742	871	1,978	1,699	1,024	631	11,417	50,472
14年	19,697	1,707	3,480	3,010	279	615	—	—	11,707	1,367	1,951	2,183	1,204	941	9,083	57,224
15年	21,854	3,070	11,736	3,682	465	720	—	—	9,135	1,195	2,900	1,685	1,201	1,326	8,586	67,555
17年	44,575	5,231	23,434	6,404	567	628	—	—	11,386	975	2,431	2,949	934	3,562	13,554	116,630
18年	77,585	10,975	30,080	8,222	780	2,148	—	—	12,397	1,281	3,179	3,252	1,953	11,298	20,905	184,055
19年	109,758	20,946	33,973	15,657	4,538	4,343	—	—	17,442	1,506	4,613	3,498	2,857	20,703	41,635	281,469
20年	115,070	23,180	33,118	18,167	4,175	5,049	—	—	20,690	2,664	5,442	4,971	3,718	32,197	32,493	300,934
21年	66,307	23,065	15,470	14,049	3,109	5,567	—	—	16,860	2,125	4,386	4,098	4,452	33,077	41,996	234,561
22年	88,248	32,037	28,110	30,666	4,156	8,165	—	—	19,732	2,247	6,497	3,914	3,857	33,198	44,145	304,972
23年	58,505	20,065	13,790	12,301	1,935	4,812	—	—	11,684	1,603	3,774	1,973	1,585	41,423	29,702	203,152
24年	74,669	24,392	14,292	18,254	7,009	6,325	—	—	16,308	2,650	4,976	2,125	2,480	40,845	34,921	249,246
25年	124,519	29,681	17,207	16,964	13,049	9,785	4,752	2,282	18,700	2,836	8,754	4,815	3,850	61,397	42,347	360,938



：国別で、宿泊者数が最多の年